

# 2. 8インチTFT for Raspberry Pi (PiShow2. 8) 動作確認方法

当資料は、製品の動作を確認する為の資料です。

製品の動作保証や性能を示す資料では御座いません。

資料製作時の確認方法であり、途中変更等がある場合が御座います。

当社にて確認の為に行った内容をまとめた資料になります。

RaspberryPiがインターネットにつながっている状態。

シリアルポートよりコマンドで通信ができる状態。

コンソール画面にて以下のコマンドを入力します。

```
wget http://www.seeedstudio.com/document/rar/TFT-Drivers-Full-Pack-V0_1-20150424.tar.bz2
```

ネット上よりファイルをダウンロードします。

```
sudo tar -jxvf TFT-Drivers-Full-Pack-V0_1-20150424.tar.bz2 -C /
```

解凍とファイル移動を行います。

# エディタコマンドで以下のファイルを変更します。

```
sudo nano /etc/modules
```

以下をファイルの最後に追加(改行等そのまま)

```
fbtft dma
```

```
fbtft_device name=rpi-tftscreen rotate=270
```

```
ads7846
```

```
ads7846_device pressure_max=255 gpio_pendown=25 cs=0 x_plate_ohms=60 swap_xy=1 keep_vref_on=1
```

# エディタコマンドで以下のファイルを変更します。

```
sudo nano /usr/share/X11/xorg.conf.d/99-calibration.conf
```

以下をファイルに記入

```
Section "InputClass"  
    Identifier "calibration"  
    MatchProduct "ADS7846 Touchscreen"  
    Option "Calibration" "3850 230 190 3850"  
EndSection
```

# 再起動の後、設定画面が表示されます。

```
sudo reboot
```

再起動します。

```
sudo raspi-config
```

RaspberryPiのデスクトップ表示の設定を行えば、液晶にデスクトップが表示されます。

タッチパネルのポイントがずれる際は、以下の項目を微調整してください。

```
sudo nano /usr/share/X11/xorg.conf.d/99-calibration.conf
```

```
Section "InputClass"
```

```
Identifier "calibration"
```

```
MatchProduct "ADS7846 Touchscreen"
```

```
Option "Calibration" "3850 230 190 3850" ←この値を微調整
```

```
EndSection
```

